

## SOMPOボールゲームフェスタin菊陽

### トッパスリートの指導体験！

1月18日、SOMPOボールゲームフェスタin菊陽が開催されました。午前の部は「あそびバ！」と題して、年中児～小学3年生の親子142人が運動遊びを楽しみました。午後の部の「キッズチャレンジ」は小学1～6年生84人が参加。現役日本代表や元トッパスリートの指導のもと、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、ラグビーの4種目を体験し、「ほんもの」にふれる貴重な経験になりました。

参加者からは「ラグビーボールを初めて触って楽しかった」との声がありました。スペシャルアンバサダーの元なでしこジャパン宮間あやさんは、「いろいろなことに挑戦してほしい」と子どもたちにエールを送りました。



運動遊びを楽しむ親子



ハンドボール日本代表グレイ選手から教えてもらう小学生



宮間さんから修了証をもらう小学生

## 3×3バスケットボール大会を開催しました

### 3×3 フェス in KIKUYO supported by 熊本ヴォルターズ

1月25日、総合体育館にて『「スポーツの力」で『地域の活力』を創造する連携協定』を締結している熊本ヴォルターズの協力のもと、3×3 フェス in KIKUYO supported by 熊本ヴォルターズを開催しました。県内の小学生を対象としたこの大会には、約120人が参加し、どの試合も白熱した素晴らしい大会となりました。町からも9つのチームが出場し、試行錯誤しながら勝利を目指して試合に取り組んでいました。

さらに、大会中は熊本ヴォルターズ公式チアリーダーのVGおよびスクール生によるパフォーマンスや、屋外マルシェも同時開催し、大いに盛り上がりました。中でも、一番の盛り上がりを見せたのは、試合の合間に開催された3×3国内代表クラスの日本選手および台湾選手によるエキシビジョンマッチでした。参加した子どもたちはトップレベルの試合に、目を輝かせながら観戦していました。

また、日台選抜選手と直接対決ができる時間も設けられ、1人の選手に3人で挑んだり、1対1をしたりなど、子どもたちは本物にふれる貴重な経験を通じ、普段では味わえない有意義な時間を過ごしました。



白熱したエキシビジョンマッチ



菊陽チームとの試合の様子

#### 3×3とは

3人制バスケットボールのことで、短時間で展開が早く、観客参加型の魅力あるスポーツコンテンツとして、国内外で急速に人気を高めています。



笑顔で記念撮影

## 能・狂言フェスタを開催しました

### ほんものに触れる体験会&鑑賞会

12月14日、能面体験や狂言・小鼓・笛などほんものに触れる体験会を開催しました。約50人が参加し、普段触れることのない伝統文化を楽しむ姿が見られました。

1月18日の鑑賞会では、希望した子どもたち11人が能楽師の皆さんとともに舞台に立ちました。子どもたちは4日間の稽古を重ね堂々と演じきりました。練習の成果をしっかりと発揮し、日ごとに成長していく姿がとても頼もしく、出演した子どもたちからは「一生懸命練習したことを出し切れてよかった」という声が聞かれ、やり遂げた達成感が伝わってきました。

また、能楽師の皆さんによる「高砂」という演目は、迫力のある舞と小鼓や笛の響きが会場を包み、約120人の来場者を大いに魅了しました。



稽古をする参加者



「三獣士」小狸役を演じる参加者



能「高砂」の上演



体験会で小鼓に挑戦

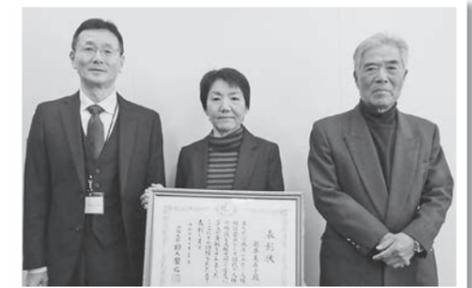
## 法務大臣からの表彰状

### 人権擁護委員法務大臣表彰状伝達式

衛藤美直子さん(下原)に法務大臣から表彰状が贈られました。

これは、平成26年7月から(現在4期目任期中)人権擁護委員として人権相談や人権啓発活動など、長年の功績を讃えて表彰されるものです。

この表彰状の伝達式が、12月15日に熊本地方法務局阿蘇大津支局で行われ、熊本地方法務局長から衛藤さんに表彰状が伝達されました。



左から中嶋武彦熊本地方法務局長、衛藤人権擁護委員、佐藤和夫阿蘇大津人権擁護委員協議会長

## 森林の大切さを学ぼう

### 菊池地域森づくりの集いを開催

12月16日、菊陽中部小学校にて菊池地域森づくりの集いを開催しました。この取り組みは、菊池地域の市町で輪番に開催しているもので、今年は菊陽中部小学校6年生120人が参加し、植樹活動と森林・木工学習を行いました。児童らは、ハナミズキの植樹や、木製本立ての作成を行い、森づくりの活動を通して森林の大切さを学びました。



校庭にハナミズキを植樹する様子



完成した木製本立てを持って集合写真